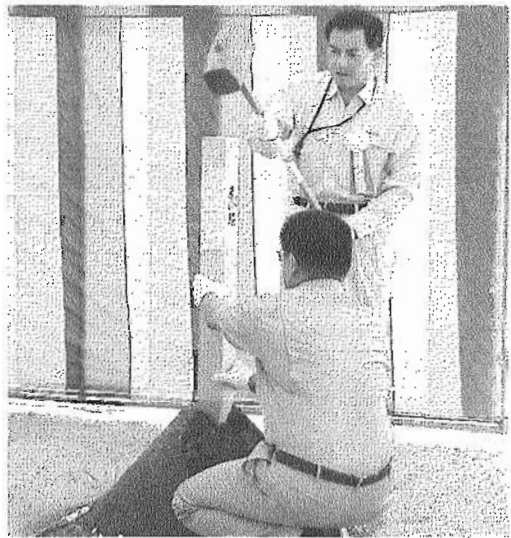


谷山北公民館新築安全祈願祭

工期内の無事故祈願

杭打ちの儀を行う鶴留留置社長(奥)と富迫社長



鹿児島市発注の仮称・谷山北公民館新築工事安全祈願祭が23日、同市中山町の現地で開かれ、関係者約80人が出席して工期内の無事故無災害を祈った。神事では、地鎮の儀で

刈初めの儀を林陽郎(新建築設計事務所)社長、鶴留留置(鶴留留置建設)社長、杭打ちの儀を鶴留留置(鶴留留置建設)社長、富迫(富迫建設)社長、山町1233-10他で、敷地面積4745.34㎡、建物規模はRC一部S造2階建て、2516.54㎡、駐車場は約100台を収容する予定。竣工は20年7月30日、供用開始は同10月を予定。各エリア面積案は、ふ

東市来町建設互助会が奉仕活動

100人が参加 海岸線を清掃

東市来町建設互助会(原田竹生会長)は21日、日置市東市来町の江口浜海岸周辺で、海の日にちなんで海岸清掃作業を今年もボランティアで実施した。写真。今回も会員18社と協力会社2社の計20社(約100人)が参加して行われた。

午前8時、道の駅「蓬菜館」に集合した会員らを前に原田会長と東市来町市来支所の住吉副支所長が「長丁場での作業にな



はこまめに取って、作業に取り組んでほしい」、「皆さんの地域を思う気持ちにに対し、厚く敬意を表したい」とそれぞれ挨拶。作業上の注意事項と作業箇所を確認した会員らは、早速作業に取り掛かった。

作業は、江口漁港海岸から日吉町の神之川周辺までの約4km区間で実施。海岸には、先日の台風で打ち上げられた流木やビニール、空き缶、発泡スチロールなど、ゴミが散らばっていた。参加者は、海岸沿いに生い茂るススキやヤナギなどを手際よく伐採・除去し、用意したダンブに次々に積み込んでいった。

「毎年、仲間たちと一緒に来てサーフインを楽しんでいます」と語る鹿児島市の寺門洋さん(23歳)も、ゴミ袋を手に清掃作業に参加。毎年、この海で気持ちよく

施工業者らが清掃作業

赤房工区開通前に

県が奄美市住用町役場で整備を行っている道路改築事業の主要地方道湯湾新村線「赤房工区」(延長2100m)が今



月25日に開通するのを受けて、施工に携わった業者が作業を行った。

参加した9業者(22人)は、新八津野橋から新村方面にかけてゴミ拾いを行ったほか、草刈りや草抜き、排水溝などに詰まっている草やゴミを撤去した。また散水車を用いて、記念写真に納まる参加者。奄美市の現地で

れあいエリア(1019㎡)にエントランス、ふれあいコーナー、ホール兼体育館(約400人収容可能)など、学習研修エリア(840㎡)に多目的研修室、研修室、調理室、図書室、健康づくり学習室など、情報・相談エリア(88㎡)に学習情報相談室、視聴覚室などを有す。

施工業者等は次の通り。建築本工(株)鶴留留置

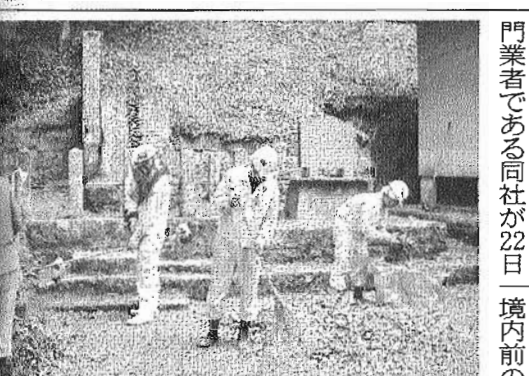
設計・(株)富迫組JV▽電気設備▽未定▽空調設備▽南国殖産(株)▽給排水衛生設備▽(株)薩南工業▽本体設計▽新建築設計事務所▽設備設計▽ワーク設計

寿福土木が清掃ボランティア

地域社会に貢献

(有)寿福土木(寿福健三社長)は21日、鹿児島市小野町の日枝神社で境内周辺の除草作業などの清掃ボランティア活動を実施した。写真。

日枝神社境内は、斜面部等の危険箇所が多く専門業者である同社が22日



「また来てみたい」と思っていたら、この活動を通じて、これからもこの活動を継続していきたい」と語った。

参加業者は次の通り。東和建設 松建 福地建設 下野建設 ヒラタ産業 大庭土建 松尾土木 日興開発 廣己商事 松尾建設 峯崎産業 平松組 堂園工務店 東洋建設 地盤開発 奥田建設

岩川興業が奉仕活動

観光の一翼担う



上屋久町の(有)岩川興業(岩川和則社長)が9日と17日の2日間、県道や町道に生い茂る草木の除去作業の奉仕活動を実施した。今回は県道・白谷線と町道・楠川線を中心として、終日にわたり取り組んでいる。台風による倒木などで通行に支障を来していたが、社員らの献身的な作業で視界が確保され、安全走行が可能となった。今後もこのような活動を続けていきたい」と抱負を語った。

刈り取った草木は、4トトラック20台分にも及んだ。

また、町道は地域住民の生活道路および農作業用道路として多くの人が利用している。台風による倒木などで通行に支障を来していたが、社員らの献身的な作業で視界が確保され、安全走行が可能となった。今後もこのような活動を続けていきたい」と抱負を語った。

タクトがボランティア

児童養護施設を清掃

(株)タクト(中原浩二社長、始良町)は21日、始良町の児童養護施設「若葉学園」で草刈り等のボランティア活動を実施し、学園関係者に喜ばれた。

当日は同社社員30人が参加。事前に学園側と打ち合わせを行い、築30年以上経過した園舎の外壁洗浄やグラウンド周辺の草



学園関係者は「私たちができることは限られており、このように協力してもらっていることに感謝しています。」と語った。